

去りながら長途の旅情を遣り、又は金錢を以て購ひ難き滋養食料を獲ん爲め、獵銃を携帯するが如きは頗る妙ならんか。

旅客に必要缺くべからざるは當該語學の素養とす。新疆省内には民種頗る多く混淆雜居せるが故に、其の各種族間には清語、蒙古語、回語及露語等行はれあり。就中清國語には北京語と廣東語と異なる如く、各地方に因り所用の言語に異同あり。故に是等の各國語或は各方言に就て一々精通するは到底望むべくもあらず、短日月の練習は更に不可能の事に屬す。然れども北京語即ち官話は最も廣く省内の各地方に通し、或は通せざる處あれば、此語と或る言語との通辯ありて、用を辨じ意を達するを得べし。故に支那各地は勿論、新疆へ旅行せんとする者は、少なくとも北京語を熟習し置くの必要あり。

最後に一言すべきは、路銀の始末なり。元來支那通貨は頗る複雑なるものにして、而も一般に通用すべきは、彼の携帯不便の馬蹄銀の外あること無し。故に旅行者は必らず爲替の方法を取るの手段を講せざるべからず。爲替の方法を取らんとすれば、銀行制度の不完全なる爲め、各開港地、開市場を除きては、其便を利用する